

「ドイツ語第Ⅲ」講座番号一覧表

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
101	ドイツ語第Ⅲ	飯田 道子	木 5
102	ドイツ語第Ⅲ	大谷 美奈	水 5
103	ドイツ語第Ⅲ	大山 浩太	火 2
104	ドイツ語第Ⅲ	岡本 和子	火 2
105	ドイツ語第Ⅲ	川口 眞理	月 4
106	ドイツ語第Ⅲ	木村 裕一	金 1
107	ドイツ語第Ⅲ	許 光俊	火 3
108	ドイツ語第Ⅲ	シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ	金 1
109	ドイツ語第Ⅲ	新谷 崇	月 5
110	ドイツ語第Ⅲ	馬場 浩平	火 4
111	ドイツ語第Ⅲ	濱野 英巳	月 4

「ドイツ語第Ⅳ」講座番号一覧表

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
201	ドイツ語第Ⅳ	大谷 美奈	水 4
202	ドイツ語第Ⅳ	岡本 和子	火 3
203	ドイツ語第Ⅳ	川口 眞理	月 5
204	ドイツ語第Ⅳ	木村 裕一	金 2
205	ドイツ語第Ⅳ	許 光俊	木 4
206	ドイツ語第Ⅳ	三瓶 慎一	火 4
207	ドイツ語第Ⅳ	シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ	金 2
208	ドイツ語第Ⅳ	馬場 浩平	火 5
209	ドイツ語第Ⅳ	濱野 英巳	月 5

ドイツ語第Ⅲ (レギュラーコース中級)

ドイツ語

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

ドイツ語を読む力をつける
春学期・秋学期：木 5

飯田 道子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

これまでに学んだ初級文法の補充・復習をしながら、中級へのステップアップを目指します。第二次世界大戦の激戦地であったスターリングラードからの兵士たちの最後の手紙を読みながら、テキストにじっくり取り組みます。訳読だけでなく、時代背景の理解に努め、オンライン授業を併用して、グループワークでの構文の分析、ディスカッションも行いたいと思います。

授業の計画:

春学期

- 第1回 導入
- 第2回 第二次世界大戦とドイツ
- 第3回 第二次世界大戦とドイツ
- 第4回 講読 1
- 第5回 講読の発表と文法練習
- 第6回 講読 2
- 第7回 講読の発表と文法練習
- 第8回 講読 3
- 第9回 講読の発表と文法練習
- 第10回 講読 4
- 第11回 講読の発表と文法練習
- 第12回 講読 5
- 第13回 講読の発表と文法練習
- 第14回 予備日
- その他 ふりかえりと試験

秋学期

- 第1回 春学期ふりかえり
- 第2回 講読 6
- 第3回 講読の発表と文法練習
- 第4回 講読 7
- 第5回 講読の発表と文法練習
- 第6回 講読 8
- 第7回 講読の発表と文法練習
- 第8回 講読 9
- 第9回 講読の発表と文法練習
- 第10回 講読 10
- 第11回 講読の発表と文法練習
- 第12回 ディスカッションなど
- 第13回 予備日
- 第14回 予備日
- その他 ふりかえりと試験

成績評価方法:

授業課題に取り組む姿勢、学期末試験によって評価します。

テキスト(教科書):

「スターリングラードよりの最後の手紙」 同学社 1993年改訂再版 ISBN:4-8102-0563-0 C1084

担当教員から履修者へのコメント:

オンライン授業を併用して、春学期・秋学期をとおしてテキストを完成する予定です。第1回授業は、対面で行います。

質問・相談:

授業時間ならびにCanvasを通じて適宜受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

ドイツの児童文学を読む
春学期・秋学期：水 5

大谷 美奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

エーリヒ・ケストナーが書いた児童書の『飛ぶ教室』がテキストです。長編なので部分的に読みます。世界的によく読まれているテキストの訳読を通して初級時に習得した文法を確認し、表現力をさらに豊かにすることを目標としています。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 概要
- 第2回 文法復習
- 第3回 講読
- 第4回 講読
- 第5回 講読
- 第6回 講読
- 第7回 講読
- 第8回 講読
- 第9回 講読
- 第10回 講読
- 第11回 講読
- 第12回 講読
- 第13回 講読
- 第14回 まとめ
- その他 課題・レポート

【秋学期】

- 第1回 講読
- 第2回 講読
- 第3回 講読
- 第4回 講読
- 第5回 講読
- 第6回 講読
- 第7回 講読
- 第8回 講読
- 第9回 講読
- 第10回 講読
- 第11回 講読
- 第12回 講読
- 第13回 講読
- 第14回 まとめ
- その他 課題・レポート

成績評価方法:

期末テスト及び平常点(出席状況および授業態度)による評価

テキスト(教科書):

Erich Kästner: 『Das fliegende Klassenzimmer』 (Atrium Verlag) ISBN: 978-3855356072

参考書:

辞書を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

関心を持って読んでください。

予習をして授業に臨んでください。1時間は単語を調べて文を訳してみてください。

授業は対面で実施します。

質問・相談:

授業後に受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

ドイツ語を精読し、他の受講者と一緒に独作文をやってみる。
春学期・秋学期：火 2

大山 浩太

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級文法を学修した方を対象に、さらにドイツ語の文章に親しみ、ドイツ語能力をステップアップさせることを目標にします。

難易度の高いテキストも扱いますが、必要な文法復習をその都度織り交ぜながら、1年後に一定の達成感が得られるよう授業を進めます。

また精読の他に授業内で独作文も行います。

独作文に関しては、グループワークの形態で実施することもあります。

(共同作業者に迷惑をかけないよう、常にレベルアップを心がけてください。)

授業の計画:

【春学期】

第1回 顔合わせ、自己紹介、授業の進め方の説明

第2回 テキスト読解と独作文

第3回 テキスト読解と独作文

第4回 テキスト読解と独作文

第5回 テキスト読解と独作文

第6回 テキスト読解と独作文

第7回 テキスト読解と独作文

第8回 テキスト読解と独作文

第9回 テキスト読解と独作文

第10回 テキスト読解と独作文

第11回 テキスト読解と独作文

第12回 テキスト読解と独作文

第13回 テキスト読解と独作文

第14回 まとめ、質問への回答

その他 学期末課題・レポート

【秋学期】

第1回 夏休みの報告、第2回の予習範囲の告知

第2回 テキスト読解と独作文

第3回 テキスト読解と独作文

第4回 テキスト読解と独作文

第5回 テキスト読解と独作文

第6回 テキスト読解と独作文

第7回 テキスト読解と独作文

第8回 テキスト読解と独作文

第9回 テキスト読解と独作文

第10回 テキスト読解と独作文

第11回 テキスト読解と独作文

第12回 テキスト読解と独作文

第13回 テキスト読解と独作文

第14回 まとめ、質問への回答

その他 学期末課題・レポート

成績評価方法:

授業へ積極的に参加する態度(予習)、毎回の授業内課題と学期末の試験(課題)により評価します。

3回以上の欠席は認めません。遅刻が重なる場合、欠席と見なします。

テキスト(教科書):

『4つ星への道ー2014ワールドカップ優勝ー』(Der Weg zum 4. Stern)

Stefanie Winkler 著/石井寿子 編

同学社 2015年

定価 1,980円(本体1,800円+税)

ISBN 978-4-8102-0697-5

担当教員から履修者へのコメント:

毎回きちんと予習して授業に臨み、授業に積極的に参加して下さい。独和辞典は各自で必ず用意して下さい。使用する辞典については特に指定しません。

(ドイツ語に自信の無い方は、1年次に使用した文法教科書または参考書もご用意下さい。)

授業中の私語、携帯電話やスマホの無断操作等、授業の進行を妨げた者については聴講許可を取り消します。

なお授業形態がオンラインとなった場合は、Zoomによるリアルタイム配信で実施します。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。(その他メールでも可。)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ドイツ語で話そう

春学期・秋学期: 火2

岡本 和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語Ⅰ、Ⅱでひと通り勉強した基礎文法を復習しながら、その応用編として様々な場面を想定した会話の練習を演習形式で行っていきます。

授業の計画:

春

第1回 イントロダクション

第2回 自己紹介①

第3回 自己紹介②

第4回 自己紹介③

第5回 自己紹介④

第6回 街角で①

第7回 街角で②

第8回 街角で③

第9回 街角で④

第10回 希望を伝える①

第11回 希望を伝える②

第12回 希望を伝える③

第13回 希望を伝える④

第14回 ふりかえり

そのほか課題など

秋

第1回 春学期で学んだ表現のふりかえり

第2回 日本について語る①

第3回 日本について語る②

第4回 日本について語る③

第5回 日本について語る④

第6回 シチュエーション①

第7回 シチュエーション②

第8回 シチュエーション③

第9回 シチュエーション④

第10回 シチュエーション⑤

第11回 シチュエーション⑥

第12回 シチュエーション⑦

第13回 ふりかえり①

第14回 ふりかえり②

そのほか課題など

成績評価方法:

平常点、定期的な課題提出など

参考書:

独和・和独辞書(出版社はどこでも可)、1年生のときに使用した教科書

担当教員から履修者へのコメント:

ドイツ語を情報発信ツールとして使う授業です。間違えを恐れずに、積極的に発言してください。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)

基礎文法トレーニング

春学期・秋学期: 月4

川口 眞理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

多くのドリル練習を通じて初級文法の定着と語彙力の増強を図ります。基礎固めにはもちろん、ドイツ語技能検定試験(独検)3級、努力次第では2級レベルの文を無理なく理解する土台を得られます。

授業の計画:

【春学期】

第1回: イントロダクション ドイツ語復習ゲーム

第2回: Lektion 1-4 動詞の現在人称変化 冠詞の格変化

第3回: Lektion 5-7 不規則変化動詞 分離・非分離動詞

第4回: Lektion 6-9 命令形 並列の接続詞 関連語句

第5回: Lektion 10-11 3格を取る動詞 人称代名詞

第6回: Lektion 12/48 話法の助動詞
第7回: Lektion 13 再帰動詞
第8回: Lektion 16-17 形容詞の格変化・比較表現
第9回: Lektion 28 分詞 冠飾句 形容詞・分詞の名詞化
第10回: Lektion 19-20 前置詞
第11回: Lektion 21/27 動詞と前置詞の結びつき 不定代名詞
第12回: Lektion 29 接続詞的副詞
第13回: Lektion 15/18 男性弱変化名詞 序数
第14回: 春学期末試験・振り返り
その他: レポート

【秋学期】

第1回: Lektion 22 動詞の三基本形 現在完了形
第2回: Lektion 23 過去形
第3回: Lektion 24-26 話法の助動詞の完了形 過去完了形 未来形
第4回: Lektion 31-32 従属の接続詞 dass/ob zu不定詞句
第5回: Lektion 33 da[r]+前置詞
第6回: Lektion 37-38 従属の接続詞 weil/da/wenn/als/nachdem
第7回: Lektion 39-41 従属の接続詞 damit/indem/wie
第8回: 秋学期中間試験・振り返り
第9回: Lektion 42-43 受動態
第10回: Lektion 43-44 様々な受動表現
第11回: Lektion 34-35 関係文
第12回: Lektion 45-46 接続法第Ⅱ式
第13回: Lektion 46-47 接続法第Ⅰ式
第14回: 秋学期末試験・振り返り
その他: レポート

進度は目安です。

成績評価方法:

平常点(授業への姿勢・課題提出回数とその内容)30%と年3回の試験(春学期末・秋学期中間・秋学期末)70%で評価します。新型コロナウイルス感染症の授業への影響次第では上記バランスは変更される可能性があります。各期3分の1以上の欠席ないし3分の1以上の課題の未提出の場合、期末試験の受験資格を失い単位を取得できません。

テキスト(教科書):

『多くの練習問題で学ぶドイツ語文法』

眞岩啓子・大島尚子著 朝日出版社 2008年

ISBN978-4-255-25312-1

参考書:

随時授業中に指示

担当教員から履修者へのコメント:

*対面が基本ですが、必要に応じてオンライン授業(各期最大7回)も取り入れます。

*春学期第1回授業は対面授業です。

*課題は次回授業で解説します。試験も秋学期末試験を除き(解答の提示のみ)次回授業で返却・解説します。

*毎週1~2時間程度の学習が必要です。一冊ノートを用意し、課題は必ず声に出しながら書き写し、全文訳を添えてください。それを画像データ化したものを提出していただきます。

質問・相談:

対面授業時は前後の休憩時間、それ以外はCanvas LMSを通じて受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ドイツ語テキストで学ぶ Landeskunde

春学期・秋学期: 金1

木村 裕一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Landeskundeとは地域事情のことで、ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。

初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

授業では主にグループワークを行い、読解や文法に関する課題をお互いに議論しながら一緒に解いてもらいます。

教員は適宜質疑応答を行い、全体確認の形でフィードバックを行います。

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業の計画:

春学期

第1回: イントロダクション 授業の概要

第2回: Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (1) テキスト読解①

第3回: Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (2) テキスト読解②

第4回: Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (3) 文法確認

第5回: Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (1) テキスト読解①

第6回: Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (2) テキスト読解②

第7回: Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (3) 文法確認

第8回: Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (1) テキスト読解①

第9回: Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (2) テキスト読解②

第10回: Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (3) 文法確認

第11回: Lektion4 Der süße Brei (1) テキスト読解①

第12回: Lektion4 Der süße Brei (2) テキスト読解②

第13回: Lektion4 Der süße Brei (3) 文法確認

第14回: 総括・試験

その他 補足説明、オフィスアワーなど

秋学期

第1回: Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (1) テキスト読解①

第2回: Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (2) テキスト読解②

第3回: Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (3) 文法確認

第4回: Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (1) テキスト読解①

第5回: Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (2) テキスト読解②

第6回: Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (3) 文法確認

第7回: Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (1) テキスト読解①

第8回: Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (2) テキスト読解②

第9回: Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (3) 文法確認

第10回: Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (1) テキスト読解①

第11回: Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (2) テキスト読解②

第12回: Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (3) 文法確認

第13回: Lektion9 Vom deutschen Stil 文法確認

第14回: 総括・試験

その他 補足説明、オフィスアワーなど

成績評価方法:

平常点(グループワークへの参加態度・自発的な発言・授業中に指示された課題に対する評価): 60%

学期末試験: 40%

テキスト(教科書):

『ドイツ語トライアングル』第3版 荻原耕平/畠山寛/高本教之共編
同学社 2018年 ISBN: 978-4-8102-0698-2

担当教員から履修者へのコメント:

グループワーク中心ですので、疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

準備学習については下記を目安としてください。

予習: 読解するテキストの音声視聴し、音読練習/扱う文法事項について昨年の学習内容を確認(30分程度)

復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

質問・相談:

授業中のほか、授業前後もしくはメール(アドレスは初回ガイダンス時に公開)で受け付けます

ドイツ語Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅲ 1 単位(秋学期)

ザッハー・マゾッホの短編を読む
春学期・秋学期: 火 3

許 光俊

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

19世紀オーストリアの作家マゾッホは、マゾヒズムの語源になっただけあって、強い女が男をいたぶる作品をいくつも書いて一世を風靡した。そのような短編を読む。

授業の計画:

春学期

- 第1回 授業やテキストの説明、作品の選択
- 第2回 訳読1
- 第3回 訳読2
- 第4回 訳読3
- 第5回 訳読4
- 第6回 訳読5
- 第7回 訳読6
- 第8回 小テストや発表など
- 第9回 訳読7
- 第10回 訳読8
- 第11回 訳読9
- 第12回 訳読10
- 第13回 訳読11
- 第14回 理解度チェック
- その他 課題など

秋学期

- 第1回 秋学期で取り上げるテキストの説明、作品の選択
- 第2回 訳読1
- 第3回 訳読2
- 第4回 訳読3
- 第5回 訳読4
- 第6回 訳読5
- 第7回 訳読6
- 第8回 小テストや発表など
- 第9回 訳読7
- 第10回 訳読8
- 第11回 訳読9
- 第12回 訳読10
- 第13回 訳読11
- 第14回 理解度チェック
- その他 課題など

成績評価方法:

平常点。

小テストなど。

テキスト(教科書):

コピーを配る。あるいはウェブ上で見られるテキストを用いる。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回必ず辞書を用いる。

ドイツ語Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅲ 1 単位(秋学期)

Deutsch für den Alltagsgebrauch (毎日使えるドイツ語)
春学期・秋学期: 金 1

シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語圏を旅行中の日常的な状況において、また役所の窓口で、あるいは仕事の現場などで、簡単なドイツ語を駆使して表現が出来るようになる事が目標です。ドイツ事情についても扱う予定なので、ドイツの文化を身近に感じてもらえればと思います。また特に語彙力をつけることに重点を置きます。

授業の計画:

Course Plan (Studio[21] A1.1

- 第1回 Vorstellung.Einführung (Start auf Deutsch).
- 第2回 Einführung (Start auf Deutsch)
- 第3回 Lektion 1 (S.16-18)+ Übungen

- 第4回 Lektion 1 (S.19-21)+ Übungen
- 第5回 Lektion 1 (S.22-23)+ Übungen
- 第6回 Lektion 2 (S.32-34)+ Übungen
- 第7回 Lektion 2 (S.35-36)+ Übungen
- 第8回 Lektion 2 (S.37-39)+ Übungen
- 第9回 Kurzttest, Lektion 3 (S.48-49)+ Übungen
- 第10回 Lektion 3 (S.50-51)+ Übungen
- 第11回 Lektion 3 (S.52-53)+ Übungen
- 第12回 Lektion 3 (S.54-55)+ Übungen
- 第13回 Präsentation, Lektion 4 (S.72-73)+ Übungen
- 第14回 Film "Lola rennt" + 映画についてディスカッション
(その他 課題会話 (いろいろな上のテーマを書く・復習とまとめ)

-----Sommerferien-----

- 第15回 Wiederholung, Lektion 4 (S.74-75)+Übungen
- 第16回 Lektion 4 (S.76-77)+Übungen
- 第17回 Lektion 4 (S.78-80)+Übungen
- 第18回 Lektion 4, Lektion 5 (S.81,90-91)+Übungen
- 第19回 Lektion 5 (S.92-93)+ Übungen
- 第20回 Lektion 5 (S.94-95)+Übungen
- 第21回 Lektion 5 (S.96-97)+Übungen
- 第22回 Präsentation, Lektion 6 (S.106-107)+Übungen
- 第23回 Lektion 6 (S.108-109)+Übungen
- 第24回 Lektion 6 (S.110-111)+ Übungen
- 第25回 Lektion 6 (S.112-113)+ Übungen
- 第26回 Präsentation / Zimmerbestellung, nach dem Weg fragen (部屋注文、道案内)
- 第27回 Urlaubsplanung und Urlaubsziele (旅行の予定と目的)
- 第28回 Deutsch in der Firma (会社で使うドイツ語)
(その他 課題会話 (いろいろな上のテーマを書く・復習とまとめ)

成績評価方法:

出席状況、授業の積極性、宿題の提出する状況などによって成績を評価します。この授業は主に会話ですから、定期的な出席は絶対必要です。

テキスト(教科書):

studio [21] Das Deutschbuch, A1.1 (Lektion 1-6), Kurs-und Übungsbuch, Cornelsen Verlag, Berlin.

ISBN:978-3-06-520530-6

参考書:

Dreyer-Schmitt, Lehr-und Übungsbuch der deutschen Grammatik, Hueber Verlag, Ismaning 2015

ISBN:3193072559

担当教員から履修者へのコメント:

私は、積極的な学生の態度が欲しい。最初から完璧なことは求めない。勉強が進むためには、間違いも必要です。

欠席は3回までです。

用意は必要ないが、毎回の授業の復習が必要です。

質問・相談:

もし、質問が相談ありましたら、e-mailで聞いて、e-mailで答えます。

ドイツ語Ⅲ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅲ 1 単位(秋学期)

精読初歩——ヨーロッパの歴史と文化

春学期・秋学期: 月 5

新谷 崇

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

指定の問題集に基づく小テストを毎回実施し初級文法を復習しながら、訳読の基礎を徹底的に訓練します。春学期は、欧州史を略述した簡単なテキストを用い、秋学期は広く文化的教養を深めつつより高度な読解力を養うのに適したテキストを読み進める予定。訳読テキストは履修者の構成および習熟度に応じて適宜選定します。

主眼は訳読。文法や文脈・背景を確かめつつ丹念に読み訳すことを通じ、速読の対極にあつてとかく軽視されがちな精読を訓練します。学術論文に準ずるテキストを自力で精確に読み解ける水準に到達することが目標です。

通年で履修すること。

授業の計画:

春学期第1回 導入・展望、教材の紹介、次回以降の訳読テキスト配付
春学期第2回 文法・訳読
春学期第3回 文法・訳読
春学期第4回 文法・訳読
春学期第5回 文法・訳読
春学期第6回 文法・訳読
春学期第7回 文法・訳読
春学期第8回 文法・訳読
春学期第9回 文法・訳読
春学期第10回 文法・訳読
春学期第11回 文法・訳読
春学期第12回 文法・訳読
春学期第13回 文法・訳読
春学期第14回 文法・訳読、総括
その他、課題提出

秋学期第1回 春学期の回顧・反省、秋学期の展望、次回以降の訳読テキスト配付・解説
秋学期第2回 文法・訳読
秋学期第3回 文法・訳読
秋学期第4回 文法・訳読
秋学期第5回 文法・訳読
秋学期第6回 文法・訳読
秋学期第7回 文法・訳読
秋学期第8回 文法・訳読
秋学期第9回 文法・訳読
秋学期第10回 文法・訳読
秋学期第11回 文法・訳読
秋学期第12回 文法・訳読
秋学期第12回 文法・訳読
秋学期第12回 文法・訳読
秋学期第13回 文法・訳読
秋学期第14回 文法・訳読、総括
その他、課題提出

成績評価方法:

毎回実施する小テストの成績、訳読の担当および議論への貢献度の評価からなる平常点。

テキスト(教科書):

尾崎盛景・稲田拓『ドイツ語練習問題3000題』白水社。

訳読テキストは初回以降、進捗の状況に応じてプリントを配付する予定。

参考書:

独和辞典は毎回必ず手元に用意すること。

多様なコンテンツを収録した電子辞書は利点が多く、積極的に推奨します。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ヨーロッパ「近代」を読み解く①

—— 世界像の時代

春学期・秋学期: 火4

馬場 浩平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ルネサンスから現代に至るヨーロッパを考えると、「近代」という概念は頻りに言及されるものの、なかなかそのイメージがつかめない、というのが実情ではないだろうか。20世紀最大の哲学者ともいわれるマルティン・ハイデガー(Martin Heidegger, 1889-1976)は、1938年の論考『世界像の時代』において、「世界像」(Weltbild)という概念をもとにルネサンス期から20世紀に至る世界観を大胆に提示した。現代思想を切り開いた思想家としても、またナチスへの加担者という問題を巡っても、様々な観点から議論の対象になってきたハイデガーだが、彼の『世界像の時代』は、ハイデガー哲学を知るうえで教科書的なテキストであると同時に、「近代」のイメージを得る助けにもなると思う。本授業では、この『世界像の時代』を専ら通読しながらハイデガーの「近代」(ルネサンスから現代)について受講生と共に考えていく予定である。

授業の計画:

(春学期)

第1回 インTRODakシヨN
第2回 『世界像の時代』精読
第3回 『世界像の時代』精読
第4回 『世界像の時代』精読
第5回 『世界像の時代』精読
第6回 『世界像の時代』精読
第7回 『世界像の時代』精読
第8回 『世界像の時代』精読
第9回 『世界像の時代』精読
第10回 『世界像の時代』精読
第11回 『世界像の時代』精読
第12回 『世界像の時代』精読
第13回 『世界像の時代』精読
第14回 まとめと試験
その他 総括と課題

(秋学期)

第1回 『世界像の時代』精読
第2回 『世界像の時代』精読
第3回 『世界像の時代』精読
第4回 『世界像の時代』精読
第5回 『世界像の時代』精読
第6回 『世界像の時代』精読
第7回 『世界像の時代』精読
第8回 『世界像の時代』精読
第9回 『世界像の時代』精読
第10回 『世界像の時代』精読
第11回 『世界像の時代』精読
第12回 『世界像の時代』精読
第13回 『世界像の時代』精読
第14回 まとめと試験
その他 総括・課題

成績評価方法:

出席(5回以上の無断欠席は不可)、授業態度(スマホ禁止)、毎回の予習、授業中の発言、最後の期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

Martin Heidegger: Die Zeit des Weltbildes. In: Gesamtausgabe. Bd. 5. Holzwege. Frankfurt am Main: Vittorio Klostermann. 1977

初回に、講読テキストを配布します。

参考書:

現代思想 臨時増刊号 1979年9月(総特集 ハイデガー)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的にはドイツ語テキストの購読ですので、時間をかけてじっくり精読していく予定です。ハイデガーの文体に慣れるまで時間がかかりますが、「泥臭く地道に」辞書をひきながら一つ一つじっくり深く理解していきましょう。そのため、『クラウン独和辞典』(三省堂)や『独和大辞典』(小学館)など、中級以上の辞書を必ず持参してください。

質問・相談:

また、受講者のレベルに合わせて授業の進度、ならびに内容を柔軟に変えていきます。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ドイツ語コミュニケーション能力の養成

春学期・秋学期: 月4

濱野 英巳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

何よりも「ドイツ語を使用する」ということに重点を置いて授業を進めます。一般的な外国語の授業では「文法」や「語彙」を基礎から応用へと体系的に学ぶことが多いため、いざ話そう、使おうと思った時に、実際の「文脈」や「意図」と上手に結びつかない、といった問題が起きます。これが「知っているけど使えない」という状況です。この授業では、一年次に獲得したドイツ語の「知識」を真に意味のある「技能」にするための「学びほぐし」を行います。最初から細かい文法や発音を気にするのではなく、様々なリソース

(歌、絵本、レシピ、新聞、雑誌、Podcast、YouTubeなど)に触れつつ、試行錯誤と失敗体験を通じて、文法を再発見し、本当に必要な語彙やフレーズを身につけて行きましょう。慌てず、緊張せず、まずはドイツ語を声に出すこと、ドイツ語を使用する楽しさを感じてください。

授業の計画:

第1回は授業の進め方、授業用Webサイトへの登録・利用方法の説明を行い、第2回以降は「自分自身とその身の回りの事柄」から「ドイツ語圏の文化や社会」へと徐々にテーマを広げ、ドイツ語の使用体験を重ねて行きます。この授業では、基本的に一つのテーマでのインプットとアウトプットがセットになっており、「自分の言葉で話す」ことを何よりも重視します。そのため、詳細なテーマ・内容は履修者と相談の上、決定する予定です。

【春学期】

第1回 イントロダクション、オンライン授業の準備、授業用サイトの登録など

第2回 ドイツ語の発音の本質

第3回 サバイバルのためのドイツ語

第4回 自己紹介のドイツ語

第5回 インタビューのためのドイツ語

第6回 ドイツ語の絵本を読もう

第7回 ドイツ語で絵本を書こう

第8回 絵本の読み聞かせ(1)

第9回 絵本の読み聞かせ(2)

第10回 ドイツ語のレシピを読もう

第11回 ドイツ語でレシピを書こう(1)

第12回 ドイツ語でレシピを書こう(2)

第13回 プレゼン:私の人生のレシピ(1)

第14回 プレゼン:私の人生のレシピ(2)

その他 振り返り

【秋学期】

第1回 振り返り

第2回 私の大学(1)

第3回 私の大学(2)

第4回 私の幸せ(1)

第5回 私の幸せ(2)

第6回 私の宝物(1)

第7回 私の宝物(2)

第8回 火事になったら何を持って逃げる?(1)

第9回 火事になったら何を持って逃げる?(2)

第10回 20年後の自分(1)

第11回 20年後の自分(2)

第12回 20年後の自分(3)

第13回 20年後の自分(4)

第14回 20年後の自分(4)

その他 振り返り

成績評価方法:

出席状況、課題への取り組み状況などを考慮して総合的に評価します。

テキスト(教科書):

オリジナルの教材を配布するため、必要ありません。

参考書:

必ず独和辞典を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業では、ただテキストを読んだり、用意された会話例に基づいた会話練習をするのではなく、「自分自身が話したいこと」「自分自身が知りたいこと」を大切にし、「本当の意味での」総合的なドイツ語コミュニケーション能力の向上を目指します。「とにかくドイツ語を使ってみよう」という意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業は基本的には対面で行いますが、状況に応じてオンラインを併用します。

ドイツ語Ⅳ (レギュラーコース中級)

ドイツ語

ドイツ語Ⅳ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅳ 1 単位(秋学期)

19 世紀の童話を読む
春学期・秋学期：水 4

大谷 美奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ヴィルヘルム・ハウフが書いた19世紀の枠物語『メルヒェン年鑑1826』内の話「ファトメを救出」とその話にも出てくるオルバサンをめぐる話を読みます。ドイツでもよく読まれている物語を訳読して、初級時に習得したドイツ語を確認し定着させ、さらに高度な表現力を身に付けていくことを目標とします。テキストは旧正書法で書かれていますが、辞書で容易に検索できます。

授業の計画:

【春学期】

第1回	概要説明
第2回	文法復習
第3回	講読
第4回	講読
第5回	講読
第6回	講読
第7回	講読
第8回	講読
第9回	講読
第10回	講読
第11回	講読
第12回	講読
第13回	講読
第14回	まとめ
その他	課題・レポート

【秋学期】

第1回	講読
第2回	講読
第3回	講読
第4回	講読
第5回	講読
第6回	講読
第7回	講読
第8回	講読
第9回	講読
第10回	講読
第11回	講読
第12回	講読
第13回	講読
第14回	まとめ
その他	課題・レポート

成績評価方法:

授業内試験及び平常点(出席状況及び授業態度)による評価

テキスト(教科書):

Wilhelm Hauff: 『Märchen-Almanach auf das Jahr 1826』(CreateSpace Independent Publishing Plattform) ISBN:978-1482557596

参考書:

辞書を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

関心を持って読んでください。

予習をして授業に臨んでください。1、2時間は単語を調べて文を訳してみてください。

授業は対面で実施します。

質問・相談:

授業後に受け付けます。

ドイツ語Ⅳ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅳ 1 単位(秋学期)

ドイツ語で文章を書いてみましょう
春学期・秋学期：火 3

岡本 和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の基礎文法を復習しながら、シチュエーションに応じた簡単な作文(手紙やメール執筆)の練習をします。授業計画は若干変わっていくかもしれません。

授業の計画:

春

- 第1回 レベルチェック
- 第2回 自己紹介①
- 第3回 自己紹介②
- 第4回 自己紹介③
- 第5回 自己紹介④
- 第6回 自己紹介⑤
- 第7回 問い合わせ①
- 第8回 問い合わせ②
- 第9回 問い合わせ③
- 第10回 問い合わせ④
- 第11回 問い合わせ⑤
- 第12回 ふりかえり①
- 第13回 ふりかえり②
- 第14回 ふりかえり③
- そのほか課題など

秋

- 第1回 春学期で学んだ表現のふりかえり
- 第2回 日本を紹介する①
- 第3回 日本を紹介する②
- 第4回 日本を紹介する③
- 第5回 日本を紹介する④
- 第6回 シチュエーション①
- 第7回 シチュエーション②
- 第8回 シチュエーション③
- 第9回 シチュエーション④
- 第10回 シチュエーション⑤
- 第11回 シチュエーション⑥
- 第12回 シチュエーション⑦
- 第13回 シチュエーション⑧
- 第14回 シチュエーション⑨
- そのほか課題など

成績評価方法:

平常点、課題提出

参考書:

独和辞書、和独辞書(出版社はどこでも可)、1年生のときに使用した教科書

担当教員から履修者へのコメント:

ドイツ語の語彙を増やしながら、様々な場面を想定しながら文章を書く練習をしていきます。課題は必ず提出してください。

ドイツ語Ⅳ 1 単位(春学期)

ドイツ語Ⅳ 1 単位(秋学期)

ドイツ文学に親しむ
春学期・秋学期：月 5

川口 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

様々な近・現代ドイツ語圏文学を抜粋で読みます(グリム童話、ゲーテ、リルケ、カフカ、マン、シュリンクなど)。精読に必要な読解のスキルを丁寧に身につけるとともに、多彩な作品原典に触れることでドイツ語圏文学への好奇心を育みます。基礎文法の復習も随時行い、皆さんの読解力養成をサポートします。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: Zu Beginn インTRODダクション
- 第2回: Lektion 1 リルケの手紙 読解前半
- 第3回: Lektion 1 リルケの手紙 読解後半 作者紹介

第4回: Lektion 2 グリム童話 『蛙の王様』 読解前半
第5回: Lektion 2 グリム童話 『蛙の王様』 読解後半
第6回: Lektion 3 シュピリ 『アルプスの少女ハイジ』 読解前半
第7回: Lektion 3 シュピリ 『アルプスの少女ハイジ』 読解後半
第8回: 教科書外 エンデ 『モモ』 読解前半
第9回: 教科書外 エンデ 『モモ』 読解中盤
第10回: 教科書外 エンデ 『モモ』 読解後半
第11回: Lektion 5 プロイスラー 『クラバート』 読解前半
第12回: Lektion 5 プロイスラー 『クラバート』 読解中盤
第13回: Lektion 5 プロイスラー 『クラバート』 読解後半
第14回: 春学期末試験・振り返り
その他: レポート

【秋学期】

第1回: Lektion 5 ゲーテ 『若きウェルテルの悩み』 読解前半
第2回: Lektion 5 ゲーテ 『若きウェルテルの悩み』 読解後半
第3回: Lektion 5 ゲーテ 『野薔薇』『魔王』 作者紹介
第4回: Lektion 8 カフカ 『変身』 読解前半
第5回: Lektion 8 カフカ 『変身』 読解後半 作者紹介
第6回: Lektion 10 ヴァイツェッカー 『1985年5月8日の演説』 読解前半
第7回: Lektion 10 ヴァイツェッカー 『1985年5月8日の演説』 読解後半 演説者紹介
第8回: Lektion 11 シュリンク 『朗読者』 読解前半
第9回: Lektion 11 シュリンク 『朗読者』 読解中盤
第10回: Lektion 11 シュリンク 『朗読者』 読解後半 作者紹介
第11回: Lektion 12 マン 『ベニスに死す』 読解前半
第12回: Lektion 12 マン 『ベニスに死す』 読解中盤
第13回: Lektion 12 マン 『ベニスに死す』 読解後半 作者紹介
第14回: 秋学期末試験・振り返り
その他: レポート

扱う作品は一部変更する可能性があります。進度は目安です。

成績評価方法:

平常点(授業への参加姿勢、毎回の課題提出)と各期末試験の成績により評価します。予習の試訳がネット翻訳や翻訳本など他者の力を利用してと判断される場合単位は取得できません。各期の3分の1以上の欠席ないし3分の1以上の課題の未提出があった場合、期末試験の受験資格を失います。

テキスト(教科書):

『ドイツ語を読む 改訂版』Susanne Schermann / 相原剣著 朝日出版社 2019年

ISBN:978-4-255-25417-3

担当教員から履修者へのコメント:

*授業: 対面を基本に、必要に応じてオンライン授業(各期最大7回)を取り入れます。

*春学期第1回授業は対面授業で行います。

*予習: 付属CDで音読練習の後、ノートに全文を書き写し動詞や主語をさがし語彙を丁寧に調べ、訳を自分の言葉で考えること(1時間〜)。それを毎回画像データ化してCanvas LMSに提出していただきます。

*フィードバック: 課題は次回授業ないし授業資料で全体的な講評として行います。春学期末試験は秋学期第1回授業にて返却、解説を行います。秋学期末試験は返却はありませんが、解答例をウェブ上に提示します。

質問・相談:

対面授業時は授業の前後の休憩時間、それ以外はCanvas LMSを通じて受け付けます。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

動画で学ぶドイツ語圏の地域事情
春学期・秋学期: 金2

木村 裕一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業ではドイツに関する様々な地域事情を題材とした動画教材を使い、ドイツ語を聞く・読むといったインプット能力を集中的に訓練するとともに、ドイツの文化や社会、習慣などに関する知識を広げることを目標とします。

授業ではくり返し動画を鑑賞しながら、動画内容に関する課題にグループワークで取り組むほか、動画内容の書き起こしテキストの読解、付随する文法事項の確認などを行います。

授業の計画:

春学期

第1回: インTRODクシヨ ン 授業の概要

第2回: Bier (1) 動画を使った聞き取り問題

第3回: Bier (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第4回: Bier (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第5回: Wurst (1) 動画を使った聞き取り問題

第6回: Wurst (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第7回: Wurst (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第8回: Schule (1) 動画を使った聞き取り問題

第9回: Schule (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第10回: Schule (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第11回: Organisation (1) 動画を使った聞き取り問題

第12回: Organisation (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第13回: Organisation (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第14回: まとめ

その他 オフィスアワー

秋学期

第1回: インTRODクシヨ ン 授業の概要

第2回: Geld (1) 動画を使った聞き取り問題

第3回: Geld (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第4回: Geld (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第5回: Mentalität (1) 動画を使った聞き取り問題

第6回: Mentalität (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第7回: Mentalität (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第8回: Migration (1) 動画を使った聞き取り問題

第9回: Migration (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第10回: Migration (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第11回: Weihnachten (1) 動画を使った聞き取り問題

第12回: Weihnachten (2) 書き起こし原稿読解 [前半]

第13回: Weihnachten (3) 書き起こし原稿読解 [後半]

第14回: まとめ

その他 オフィスアワー

成績評価方法:

平常点(グループワークの参加態度・自発的な発言・授業中に指示された課題に対する評価): 40%

小テスト: 60%(各テーマの区切りごとに実施)

テキスト(教科書):

授業時にプリントを配布します

担当教員から履修者へのコメント:

聞き取りといってもいきなり「完璧」な理解を目指す必要はありません。言葉が聞き取れなくてもそれ以外の視覚情報や周辺情報などをヒントにして、大雑把に内容を推測するところから始めます。ゆっくり徐々にステップアップしていきますので、不安になることはありません。

小テスト(各テーマの区切りごと、つまり3回毎に授業冒頭の20分程度を使って実施しますので、必ず受験するようにしましょう。

準備学習ですが、下記を目安としてください。

予習(30分):

・小テストの準備

・テキスト読解時は、事前に訳す必要はありませんが、分からない単語だけ調べておきましょう

復習(30分):

・LMSに期間限定で動画をアップしますので、それを視聴し、音読練習などをしてください

・読解回後は新しい単語をリスト化などしておくといいでしょ

質問・相談:

質問・相談は授業中のほか、授業前後やメール(アドレスは初回ガイダンス時に公開)でも受け付けます。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

カフカの小説を読む
春学期・秋学期: 木4

許 光俊

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

カフカは不思議な小説を書いたが、文法的にはそれほど難しくない。原文に触れるのも、せっかくドイツ語を学んだのだから、よいことだろうと思う。翻訳はいくらでもあるが、原文の息吹を感じるのには意味あることだ。

授業の計画:

春学期

- 第1回 授業やテキストの説明、作品の選択
- 第2回 訳読1
- 第3回 訳読2
- 第4回 訳読3
- 第5回 訳読4
- 第6回 訳読5
- 第7回 訳読6
- 第8回 小テストや発表
- 第9回 訳読7
- 第10回 訳読8
- 第11回 訳読9
- 第12回 訳読10
- 第13回 訳読11
- 第14回 理解度チェック
- その他 課題など

秋学期

- 第1回 秋学期で取り上げるテキストの説明、作品の選択
- 第2回 訳読1
- 第3回 訳読2
- 第4回 訳読3
- 第5回 訳読4
- 第6回 訳読5
- 第7回 訳読6
- 第8回 小テストや発表
- 第9回 訳読7
- 第10回 訳読8
- 第11回 訳読9
- 第12回 訳読10
- 第13回 訳読11
- 第14回 理解度チェック
- その他 課題など

成績評価方法:

平常点。

小テストなど。

テキスト(教科書):

コピーを配る。あるいはウェブ上で手に入るテキストを用いる。せっかくだから、原語のカフカ短編集くらい本棚に並んでいても、大学生としてはいいものだろうなと思う。だって大学生だもの。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回必ず辞書を持ってくること。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ドイツの高級日刊新聞・高級週刊紙・高級週刊誌を読む
春学期・秋学期: 火4

三瓶 慎一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

その紙上・誌上で知識人が議論を展開するような、ドイツ研究には不可欠ないくつかの新聞・雑誌がある。そこからできるだけ読みやすいもの、アクチュアルなドイツ事情の知識をあまりにも多く前提とはしないものを選んで精読する。初級を終えたばかりの身には猛烈に難しいが、根気よく辞書を「読み」、初級で学んだ文法を常に振り返って疎かにせず、1つでも多く語彙を習得しようとする気持ちを持つならば、1年後に得られるのは大学院レベルの読解力と大きな自信だろう。

授業の計画:

(春学期)

- 第1回 輪読(1)
- 第2回 輪読(2)
- 第3回 輪読(3)
- 第4回 輪読(4)
- 第5回 輪読(5)
- 第6回 輪読(6)
- 第7回 輪読(7)
- 第8回 輪読(8)
- 第9回 輪読(9)
- 第10回 輪読(10)
- 第11回 輪読(11)
- 第12回 輪読(12)
- 第13回 輪読(13)
- 第14回 輪読(14)と総括
- その他 補講など

(秋学期)

- 第1回 輪読(1)
- 第2回 輪読(2)
- 第3回 輪読(3)
- 第4回 輪読(4)
- 第5回 輪読(5)
- 第6回 輪読(6)
- 第7回 輪読(7)
- 第8回 輪読(8)
- 第9回 輪読(9)
- 第10回 輪読(10)
- 第11回 輪読(11)
- 第12回 輪読(12)
- 第13回 輪読(13)
- 第14回 輪読(14)と総括
- その他 補講など

成績評価方法:

平常点または試験またはレポート

テキスト(教科書):

日刊新聞 „Süddeutsche Zeitung“, 週刊新聞 „Die Zeit“, 週刊誌 „Der Spiegel“ などから選んだ記事を、コピーで配布する。

参考書:

小学館『独和大辞典〔第2版〕』(アプリでも購入可)、Duden - Universalwörterbuch (ネット環境で無料で使用可、アプリでも購入可)、Ulrich Apel: 独和辞典((ネット環境で無料で使用可); (初級文法の落ち穂拾いをしたい人は)三瓶慎一『CDで学ぶドイツ語入門[改訂版]』(白水社)

担当教員から履修者へのコメント:

かなり大変だが、間違いなく読解力がつくだろう。ドイツ語に正面から取り組みたい人の挑戦を待っている。

質問・相談:

メール、その他で随時受け付ける。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

Deutschland und die Welt aktuell

春学期・秋学期: 金2

シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Der Kurs wendet sich an Studenten, die Interesse an aktuellen gesellschaftlichen Themen haben. Wir lesen im Unterricht dazu Aufsätze in Mittelstufendeutsch und versuchen dabei nicht nur den Inhalt zu erfassen, sondern auch den sprachlichen Ausdruck wesentlich zu erweitern und zu verbessern. Da dies nicht ohne Arbeit möglich ist, wird den Studenten dringend empfohlen, den Unterricht nachzuarbeiten. Es dauert etwa 1 Stunde pro Unterricht

現在の社会的なテーマに興味ある学生向けの講座です。私たちは、中級のドイツ語の記事を読んで、そして内容を理解して、ドイツ語の表現力を上達するように頑張ります。ドイツ語を上達するために、家で授業で習ったことを復習する必要があります。各授業一時間~かかります。

授業の計画:

1. Stunde: Einführung. Text: "Wo Deutschlands mächtigste Richter sitzen" (1), aus: Deutsche Welle vom 15.7.2017
2. Stunde: "Wo Deutschlands mächtigste Richter sitzen"(2)
3. Stunde: "Ein Häuschen für Obdachlose"(1), aus: Deutsche Welle vom 9.12.2016
4. Stunde: "Ein Häuschen für Obdachlose (2)
5. Stunde: "Google vergisst nichts"(1), aus: Deutsche Welle vom 27.11.2020
6. Stunde: "Google vergisst nichts"(2)
7. Stunde: "Ein Modell gegen Ärztemangel auf dem Land"(1), aus: Deutsche Welle vom 24.2.2017
8. Stunde: "Ein Modell gegen Ärztemangel auf dem Land"(2)
9. Stunde: "Der Erlkönig" von Johann Wolfgang von Goethe mit Erläuterungen(説明)
10. Stunde: Eeste und Bräuche in Deutschland
11. Stunde: "Schikanen aus dem Netz"(1), aus: Deutsche Welle vom 10.2.2017
12. Stunde: "Schikanen aus dem Netz"(2)
13. Stunde: "Auch Langeweile kann krank machen", aus: Deutsche Welle vom 10.4.2020
14. Stunde: Bezahlbarer Wohnraum in Deutschland.
(その他: 3回宿題(自分の意見を書く)、まとめ)

- Sommerferien-----
15. Stunde: "Schlechte Luft in Großstädten"(1), aus: Deutsche Welle vom 17.1.2017
 16. Stunde: "Schlechte Luft in Großstädten" (2)
 17. Stunde: "Geschwister Scholl-Kampf gegen den Nationalsozialismus(1), aus: Deutsche Welle 27.2.2018
 18. Stunde: "Geschwister Scholl-Kampf gegen den Nationalsozialismus(2)
 19. Stunde: "Gemüse aus der Stadt"(1), aus: Deutsche Welle vom 22.8.2017
 20. Stunde: "Gemüse aus der Stadt"(2)
 21. Stunde: Der Klimawandel(1)
 22. Stunde: Der Klimawandel (2)
 23. Stunde: "Wie Corona die Innenstädte verändern könnte"(2)
 24. Stunde: "Wie Corona die Innenstädte verändern könnte"(1), aus: Deutsche Welle vom 26.6.2020
 25. Stunde: Die Energiewende in Deutschland (1)
 26. Stunde: Die Energiewende in Deutschland (2)
 27. Stunde: "Im Frauenhaus sicher vor Gewalt", aus: Deutsche Welle vom 4.11.2016
 28. Stunde: "Wie kann Corona die Innenstädte verändern könnte", aus: Deutsche Welle 26.6.2020
(その他: 3回(自分の意見を書く)宿題、まとめ)

成績評価方法:

Die Benotung orientiert sich an Anwesenheit, mündlichen Beiträgen zum Unterricht und nach den Ergebnissen der schriftlichen Hausaufgaben.

テキスト(教科書):

Das Unterrichtsmaterial wird von der Kursleiterin gestellt.

参考書:

Dreyer-Schmidt, Lehr- und Übungsbuch der deutschen Grammatik, Hueber Verlag, Seefeld 2015, ISBN978-3-19-307255-9

担当教員から履修者へのコメント:

原則は対面授業ですが、大学はコロナの状態によってonlineを決めます。

私は、積極的な学生の態度が欲しい。最初から完璧なことは求めていない。勉強が進むためには、間違いも必要です。

欠席は3回までです。用意は必要ないが、毎回の授業の復習が必要です。上達するためです。予習は必要ではありません。

質問・相談:

もし、質問が相談があったら、e-mailで聞いて、e-mailで答えます。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ヨーロッパ「近代」を読み解く②

—— 蒐集の思想

春学期・秋学期: 火5

馬場 浩平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は「近代美術館の蒐集文化」に関するテキストの精読である。15世紀から現代のヨーロッパ文化において、古今東西の知を蒐集することは、個人的な趣味などでは決してなく、国家プロジェクトともいえる様相を呈していた。その中でも特に16世紀から18世紀前半には、「ヴンダーカマー」(驚異の小部屋)と呼ばれる収集室が王侯貴族の珍品蒐集のために存在していたが、18世紀後半から19世紀前半になると、「美しい芸術作品」だけを蒐集した「美術館」が生まれ、「ヴンダーカマー」は廃れていく。このことは「近代」を特徴づけている現象であるといえる。本授業では、20世紀におけるドイツの思想家ボリス・グロイス(Boris Groys, 1947-)のLogik der Sammlungを講読し、19世紀における「公共美術館」と近現代のアヴァンギャルド芸術の間にはらむ知られざる関係について受講者とともに考えていく予定である。

授業の計画:

(春学期)

- 第1回 インTRODakシオン
 - 第2回 Logik der Sammlung精読
 - 第3回 Logik der Sammlung精読
 - 第4回 Logik der Sammlung精読
 - 第5回 Logik der Sammlung精読
 - 第6回 Logik der Sammlung精読
 - 第7回 Logik der Sammlung精読
 - 第8回 Logik der Sammlung精読
 - 第9回 Logik der Sammlung精読
 - 第10回 Logik der Sammlung精読
 - 第11回 Logik der Sammlung精読
 - 第12回 Logik der Sammlung精読
 - 第13回 Logik der Sammlung精読
 - 第14回 まとめと試験
- その他 総括・課題

(秋学期)

- 第1回 Logik der Sammlung精読
 - 第2回 Logik der Sammlung精読
 - 第3回 Logik der Sammlung精読
 - 第4回 Logik der Sammlung精読
 - 第5回 Logik der Sammlung精読
 - 第6回 Logik der Sammlung精読
 - 第7回 Logik der Sammlung精読
 - 第8回 Logik der Sammlung精読
 - 第9回 Logik der Sammlung精読
 - 第10回 Logik der Sammlung精読
 - 第11回 Logik der Sammlung精読
 - 第12回 Logik der Sammlung精読
 - 第13回 Logik der Sammlung精読
 - 第14回 まとめと試験
- その他 総括・課題

成績評価方法:

出席(5回以上の無断欠席は不可)、授業態度(スマホ禁止)、毎回の予習、授業中の発言、最後の期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

Boris Groys: Logik der Sammlung. München: Carl Hanser

初回に、講読テキストを配布します。

参考書:

特にありません。

担当教員から履修者へのコメント:

基本的にはドイツ語テキストの講読ですので、時間をかけてじっくり精読していく予定です。グロイスの文体に慣れるまで時間がかかりますが、「泥臭く地道に」辞書をひきながら一つ一つ理解していきましょう。ですので、『クラウン独和辞典』(三省堂)や『独和大辞典』(小学館)など、中級以上の辞書を必ず持参してください。

質問・相談:

また、受講者のレベルに合わせて授業の進度、ならびに内容を柔軟に変えていきます。

ドイツ語第Ⅳ 1単位(春学期)

ドイツ語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ドイツ語コミュニケーション能力の養成
春学期・秋学期：月5

濱野 英巳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

何よりも「ドイツ語を使用する」ということに重点を置いて授業を進めます。一般的な外国語の授業では「文法」や「語彙」を基礎から応用へと体系的に学ぶことが多いため、いざ話そう、使おうと思った時に、実際の「文脈」や「意図」と上手に結びつかない、といった問題が起こります。これが「知っているけど使えない」という状況です。この授業では、一年次に獲得したドイツ語の「知識」を真に意味のある「技能」にするための「学びほぐし」を行います。様々なリソース（歌、絵本、レシピ、新聞、雑誌、Podcast、YouTubeなど）に触れつつ、試行錯誤と失敗体験を通じて、文法を再確認し、流暢さと正確さを両立させたドイツ語コミュニケーション能力の涵養を目指します。

授業の計画:

第1回は授業の進め方、授業用Webサイトへの登録・利用方法の説明を行い、第2回以降は「自分自身とその身の回りの事柄」から「ドイツ語圏の文化や社会」へと徐々にテーマを広げ、ドイツ語の使用体験を重ねて行きます。この授業では、基本的に一つのテーマでのインプットとアウトプットがセットになっており、「自分の言葉で話す」ことを何よりも重視します。そのため、詳細なテーマ・内容は履修者と相談の上、決定する予定です。

【春学期】

第1回 イントロダクション、オンライン授業の準備、授業用サイトの登録など

第2回 ドイツ語の発音の本質

第3回 サバイバルのためのドイツ語

第4回 自己紹介のドイツ語

第5回 インタビューのためのドイツ語

第6回 ドイツ語の絵本を読もう

第7回 ドイツ語で絵本を書こう

第8回 絵本の読み聞かせ（1）

第9回 絵本の読み聞かせ（2）

第10回 ドイツ語のレシピを読もう

第11回 ドイツ語でレシピを書こう（1）

第12回 ドイツ語でレシピを書こう（2）

第13回 プレゼン：私の人生のレシピ（1）

第14回 プレゼン：私の人生のレシピ（2）

その他 振り返り

【秋学期】

第1回 振り返り

第2回 私の大学（1）

第3回 私の大学（2）

第4回 私の幸せ（1）

第5回 私の幸せ（2）

第6回 私の宝物（1）

第7回 私の宝物（2）

第8回 火事になったら何を持って逃げる？（1）

第9回 火事になったら何を持って逃げる？（2）

第10回 20年後の自分（1）

第11回 20年後の自分（2）

第12回 20年後の自分（3）

第13回 20年後の自分（4）

第14回 20年後の自分（4）

その他 振り返り

成績評価方法:

出席状況、課題への取り組み状況などを考慮して総合的に評価します。

テキスト(教科書):

オリジナルの教材を配布するため、必要ありません。

参考書:

必ず独和辞典を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業では、ただテキストを読んだり、用意された会話例に基づいた会話練習をするのではなく、「自分自身が話したいこと」「自分自身が知りたいこと」を大切にし、「本当の意味での」総合的なドイツ語コミュニケーション能力の向上を目指します。「とにかくドイツ語を使ってみよう」という意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業は基本的には対面で行いますが、状況に応じてオンラインを併用します。